

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

一般の部

令和五年三月度 入賞句一覧 投句数 四百九十六句

特選



大西 誠一 選

愛の日や蕎麦定食の横にチヨコ

本巢市

土川 楽人

私の季語辞典には「愛の日」は出ていない。ただし「愛日」という季語があり、それは冬の暖かい日の事とある。そこで「愛の日」とはバレンタインデーと解釈し特選とした。当然下五の「横にチヨコ」も良いが中七の「蕎麦定食の」がすばらしい。夫婦仲よく過ごされていること間違い無し。

金縷梅や栄華いつとき小谷山

大垣市

小林 研

先ず、季語の「金縷梅（まんさく）」が良い。語源はまず咲くからきていると言われ、春一番の花である。当然小谷山であるから、浅井長政の居城、小谷城の城址があり、もし長政が朝倉と手を組まなければ、お市の方も三姉妹も長政亡き後の人生を歩まなかつたと思うと切ない。

着ぶくれてみな善人となりにけり

大垣市

村田 通夫

この句を読んだ時、ほんとうにそうだなあとと思った。自分もまだまだ若いと思つていたが、寄る年波には勝てず、特に冬の寒さがこたえるようになった。五十代までは冬でも上半身三枚着れば大丈夫だったのが、四枚を越えて五枚着ることもある。身体が温まると心も満たされ、善人顔になること間違い無しである。

秀逸

天職はなんだつたのか日向ぼこ

東京都世田谷区

関戸 信治

鵜舟には帰蝶の名あり冬ぬくし

大垣市

松岡 千代

薪を割る音はるかより山笑ふ

大垣市

白井 秀子

七味売りのよき匙さばき一の午

埼玉県川口市

吉永 寿美子

突く風にまされる光春立ちぬ

岐阜市

花川 和久

山の香を街に届けと春の川

大垣市

北浦 典子

対岸に袴の師在り卒業歌

大垣市

北島 暁子

母となる娘の幸せや水温む

養老郡養老町

佐藤 咲楽

父の押す子の鞆轡の高すぎず

大阪府東大阪市

森 佳月

弁天の朱唇の湿り浅き春

岐阜市

堀江 美州

入選

奉納の鎌の刃光り春立ちぬ

不破郡垂井町

久保田 紘義

蝶結びならふ息子や春の泥

大垣市

田口 貞善

ハイヒール少し高めの春景色

東京都新宿区

花澤 ちいこ

踏青や雲なき空の眩しさに

大垣市

尾関 逸子

春菊や色よく茹でて二人膳

不破郡垂井町

児玉 信子

川岸に甲羅干す亀春うらら

大垣市

後藤 喜美男

所在なき顔して立てる官女かな

揖斐郡大野町

豊田 美見

地雷なき母国よ確と青き踏む

養老郡養老町

田中 紫香

たんぽぽやわが心にも青空を

愛知県名古屋市

舘野 茂子

城灯す色とりどりの吊り雛

岐阜市

高山 信子

雨水かな雨水は夫の誕生日

各務原市

桑原 緑

伊根の朝春眠に入る櫂の音

大垣市

宮上 美濃留

したたかに又しなやかに枝垂梅

大垣市

高津 喜久子

向き変へつ将棋指す背の日向ぼこ

大垣市

岡田 博志

草も木ももういいかいと雨水かな

兵庫県姫路市

三木 崇弘

詩魂このことに初春の北信濃

愛知県豊田市

城山 悠水

新しき道へ行く背に春疾風

愛知県犬山市

紅紫 あやめ

腹帯を巻いて散歩へ春を待つ

広島県福山市

中常 かつたろー。

工房を継いでくれぬか春の宵

安八郡安八町

渡辺 やちよ

初恋と初めてのハグ春の宵

大阪府箕面市

露口 全速

一般の部

選者吟

水底の母校へと舞ふ落花かな

誠一

